

かんぴょう伝来300年



日本一の生産量を誇るとちぎのかんぴょう。このかんぴょうが本県に伝来して今年で300年目を迎えました。記念イベントを楽しんだり、かんぴょう料理を味わったりして、かんぴょうの魅力を満喫してみませんか。

壬生町に伝わったかんぴょうの生産

ユウガオの実(ふくべ)を薄く細長くむき、天日に干して作られるかんぴょう。栃木県は国内のかんぴょうの9割以上を生産する日本一のかんぴょうの産地です。年間の生産量は約350トンので、一本のかんぴょうに見立てると、その長さは地球を約2周できるほどにもなります。

栃木県のかんぴょうの生産は、1712年に現在の壬生町で始まりました。近江国水口藩(現在の滋賀県甲賀市)から国替えて下野国壬生藩主となつた鳥居忠英が、農業政策の一環として、水口藩からかんぴょうの種を取り寄せて領内で試作を開始。夏に多く発生する雷雨が



鳥居忠英



収穫時期のユウガオの実(ふくべ)は重さ6~8kgに成長します



竿にかけて半日から1日干されてかんぴょうになります

地表を冷やし、暑さに弱いかんぴょうの根の成長を助ける効果があるなど、栃木の風土はかんぴょう栽培に適しており、壬生町を中心に生産が盛んになっていきました。

かんぴょう街道では記念イベントが満載

かんぴょうの生産が盛んな壬生町、下野市、上三川町、小山市にまたがる「歴史とロマンのかんぴょう街道」では、かんぴょうの栽培が本県に伝わり今年が300年目の節目にあたることから、各地で記念イベントが開催されます。

多彩なかんぴょう料理を味わおう
のり巻きやイメージが強いかんぴょうですが、壬生町などでは各種ミネラルや食物繊維を豊富に含んだヘルシーな食材として、みそ汁の具やサラダ、煮物など幅広い料理に使われています。かんぴょう街道では、そんなかんぴょうの魅力を知らせてもらい、消費拡大を図ろうと新商品・新メニューの開発が盛んです。



イベントではかんぴょうむきも体験できます

回転するユウガオの実が形を変えて、あっという間に帯状のかんぴょうになっていく様子に思わずびっくり。熟練の生産者が補助するのでも、小さな子どもでも安心して参加できます。

道の駅しもつけでは、かんぴょう関連商品が充実。駅オリジナルの「カンピョウのかんぴょうカレー」や、「餃子とかがんぴょうコラボした」ものもつけかんぴょう餃子のほか、かんぴょうを使ったお菓子や、伝統工芸品のふくべ細工なども取りそろえています。

「道の駅しもつけ」では、かんぴょう関連商品が充実。駅オリジナルの「カンピョウのかんぴょうカレー」や、「餃子とかがんぴょうコラボした」ものもつけかんぴょう餃子のほか、かんぴょうを使ったお菓子や、伝統工芸品のふくべ細工なども取りそろえています。



プレゼントコーナー!
「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で5名の方に、かんぴょう関連商品詰め合わせ(3,000円相当)を差し上げます。

町の「ワッショイかんぴょうマドレーヌ」は、かんぴょうの粉末を練り込んだマドレーヌ。かんぴょう伝来300年を記念した商品で、おやつやお土産にもおすすめです。

8/10 (金) 栃木印 夏の食まつり ~暑い夏を美味しく涼しく~

時間 午後4時~8時 場所 県庁本館1階県民ロビー・県民広場

県内各地の「夏におすすめの食」を一堂に集めました。ジェラートやご当地グルメで、節電の夏を「美味しく」「楽しく」「元気に」乗り切りましょう。また、浴衣や甚平での来場者にはジェラートのサービスなどの特典もあります。

- 栃木のジェラート大集合
県内の道の駅や果樹園などで販売されている約50種類のジェラートが味わえます。少量で販売するので、いろいろな味を食べ比べてみましょう
- 夕市(けんちょうde愛ふれあい直売所)
県産の安全・安心な農産物や特産品を販売します
- ご当地グルメコーナー
県内各地の「食の街道」の特色を活かした食や、地産地消グルメが食べられます
- わくわく体験コーナー
ミニトマトすくいや、野菜わなげなど、緑日風のアトラクションが楽しめます。かんぴょうむき体験も実施
- 夏のオススメレシピなどを紹介
体温を下げる「クールベジタブル」や夏に不足しがちな栄養素を上手に取るためのレシピを紹介

問 県農村振興課 ☎028-623-2333

かんぴょうイベント案内

8/11-12 (土) (日) 壬生町かんぴょう伝来300年記念祭

歴史紹介、かんぴょうむき体験、かんぴょう料理や商品等販売、ステージショーなど

時間 午前10時~午後3時

場所 みぶハイウェイパーク(道の駅みぶ)

問 壬生町・壬生町干瓢生産流通推進協議会 ☎0282-81-1839

8/22 (水) 県立博物館 かんぴょう満喫デー

かんぴょうむき体験、ふくべ細工絵付け体験、かんぴょう関連物品販売

時間 午前9時30分~午後3時

場所 県立博物館(宇都宮市)

※テーマ展示「栃木の平野の暮らし~かんぴょう~」開催中(9/17(月・祝)まで)。期間中はレストランでかんぴょう特別メニューを提供

問 県立博物館 ☎028-634-1311

8/25 (土) かみのかわ “かんぴょう収穫まつり”

かんぴょうの収穫・かんぴょうむき・かんぴょう干しの体験(先着100名)、かんぴょう料理の試食配布。かみのかわサンフラワー祭りも同時開催

時間 午前10時~午後1時

場所 上三川町農村環境改善センター北側

問 上三川町産業振興課 ☎0285-56-9138

8/26 (日) 第3回しもつけかんぴょうフェスティバル

かんぴょうむき、ミニ草履制作・ふくべ細工教室、太鼓演奏、キャラクターショー

時間 午前10時~午後3時

場所 下野市 大松山運動公園ピクニック広場

問 しもつけ地域活性化委員会 ☎0285-53-0215